



「市民協働」とは、市民と行政がパートナーとなって、共通する課題に向かい、力を合わせて努力していく活動です。  
郡上市市民協働センターは、市民と行政の間に立って支援し調整する役割を担っています。  
今回はセンターの行っている、地域づくり、まちづくり活動促進の支援を紹介します。

### GOOD郡上プロジェクト

生徒の皆さんの生き方の中に「まちづくり」という思いを刻む  
「郡上の現状を知る」ことから「課題」を見つけ、自分で考え、行動に移し、実現させることで、まちづくりに対して、そして故郷である郡上に対して関心と愛着を持ってもらう事を目的としています。また、提案発表や地域の大人たちとのやり取りを通じて、中高生に一歩踏み出した社会性を身に着けていただくことも期待しています。

※関連記事→背表紙へ

### まちづくりフェスティバル

「まちづくり」をキーワードとしたヤル気を目覚めさせる2時間  
さまざまな団体の活動内容や学生の提案内容を知ってもらい、意見交換をおこなっています。来場者の皆さんがそういった発表内容から刺激を受けて新たに「まちづくり活動」を始めたり、停滞していた活動を再開させたりする起爆剤となるようなイベントを目指しています。イベントの終わりには、なんだか「ヤれる」気になって帰路について欲しい！

### 情報発信

さまざまなまちづくり事業の活動レポートや講座・補助金情報・イベント情報の発信、情報誌の発行などを行っています。

ホームページ 魅力ある地域づくり推進事業、提案型協働事業の活動レポート掲載など

Facebook 講座、研修情報、補助金の情報発信など  
ええがいど 郡上市イベントカレンダー

情報誌 センターの活動情報の発信など

### 魅力ある地域づくり推進事業

#### 郡上市提案型協働事業

暮らしたくなる郡上・働きたくなる郡上へ

市からの委託事業として2つの補助金事業の申請相談から審査会開催とその後の報告書作成フォローまでの業務をおこなっています。

### 地域づくり講演会

まちづくりの理解者育成と支援の増強を目指し毎年6月頃開催

平成29年の講演会では「住民自治とは何か」「行政の仕事の進め方・考え方の変化」「市民参画・市民との協働による効果」などの講話後、パネルディスカッション・来場者との意見交換をしました。今後も、多様な課題を抱えるまちづくりについて議論を重ね、自発的に湧き上がる地域づくり活動への思いをもっていただけるような参加型の会を企画していきます。



### 相談業務

「まちづくり」に関する活動団体からのご相談をお受けしています。活動中の方も、これから活動を始めたい方も、おどうぞ気軽に窓口までおいでください。

#### —これまでのご相談内容の一例—

- 所有する資格を活かしたボランティア活動があるか
- 「まちづくり」に関する勉強会での発表内容について
- 団体の活動のための補助金について／申請方法など

# 平成29年度 郡上市魅力ある地域づくり推進事業 一活動紹介一

郡上市市民協働センターでは、平成29年度より郡上市の委託事業の1つとして、「郡上市魅力ある地域づくり推進事業」の補助金申請受付窓口と、審査会業務を担っています。申請の為の条件確認や、書類作成方法などの窓口相談も多数お受けすることになり、多くの団体・市民の方々と接する機会を持つことができました。

それにより郡上市民協働センターの存在とセンター業務の内容は、広く市民の皆さんのが周知に繋がっているようです。

市民協働センターでは各団体の活動の中間支援を行おうと、訪問や代表・関係者の方との面談を行ってきました。こうした訪問や面談時間で得た各団体活動の一部を、今回の情報誌でご紹介します。

センターでは引き続きこうした活動を行い、Facebookやホームページなどにも順次掲載していく予定です。

## 大和町中神路 中神路里山の会「心豊かに暮らせる里山づくり」

申請2回目  
【自治会・地区団体】

十数年前から法圓寺の住職がつくりはじめていた、道路端に彼岸花が咲く地域の情景。今日、その美しい景観づくりは地域住民に引き継がれています。

今年の5000個のスイセン植栽作業には、小さなお子さん連れの親子から高齢の方まで多くの参加があり、「この取り組みをとても誇りに思う」といった声が聞かれました。

作業後にはBBQで世代を越えた交流の場が。「心豊かな暮らしの環境づくり」は地域活性化に繋がっています。何でも地域の事を行政がやってくれて当たり前と考えるのではなく、「自分たちでやれることは自分たちでやる姿勢を持つ考えが必要な時代になっている」と住民の方から聞きました。今後も事業を継続して行っていくそうです。



## 大和町母袋 母袋わくわく会「母袋わくわく夢計画の作成」

申請1回目  
【自治会・地区団体】



地域住民と地域おこし支援隊・吉田雄輔さん、まちづくりアドバイザー・興膳健太さんも加わり、住民総意で『5年後・10年後の地域ビジョン』作成のための活動を進めています。

飛騨市山之村先進地視察・交流会、母袋夢語り会、小学生以上の全地域住民を対象にした地域アンケートなどを実施。様々な地域行事や活動を年間スケジュール表に起こしたり、こういった活動にともなう参加住民への負担や、世代交代や継続の必要性などの検証を通して、地域総意のものとなるよう検討が進められています。事業を通して住民の人々が母袋の暮らし・将来の在り方が示される夢ビジョンの内容を共有し、地域づくり活動への継続的参加に繋げようとしています。

## 八幡町西和良 西和良まちづくり協議会「地域振興計画の実行」

申請2回目  
【自治会・地区団体】

過疎化による日々の暮らしに直結した課題の解決が求められています。コミュニティバス路線の見直しによるオンデマンドバス運行の検討や、地域資源の掘り起し（自然・狩猟文化など）に着手しています。

『住民誰もが集える居場所づくりの拠点』として、岐阜大学の学生たちとともに旧西和良診療所をリフォーム中で、すでに改修を終えた一室を喫茶サロンとしてオープンする予定。また、その近所では無農薬の農産物朝市が開催されており、安心安全の販売物は大好評。朝市を通した生産者による地域活性化に繋がっています。今後は、若者が年間を通して自立できるような産業・事業の活性化を目指し、地域おこし協力隊の導入要望を次年度事業計画に盛り込む予定です。



## 八幡町亀尾島 亀尾島七夕会「きびしまお花街道事業」

申請1回目  
【自治会・地区団体】

この地域は亀尾島川上流域にあり、高齢化と過疎化が進んでいますが近年は数世帯の移住者をむかえ、夏場は市内外からの鮎釣り客で賑わいます。

街道沿いの花植えによる景観づくりや、危険場所の安全整備は、四季によって訪れる人々へのおもてなしの思いと、住民の癒しに繋がる環境整備につながっています。地域全体の景観を1つの庭ととらえ、その庭づくりが進められています。夏の亀尾島大収穫祭では、集う地域の人たちがお互いの活動をねぎらい、今後の継続的な地域づくりに期待する言葉が多く聞かれました。もともと自宅で花や野菜作りが好きな高齢の女性たちによる活動も、大きく地域活性化に繋がっています。花植えや収穫祭の活動を通じた、住民同士の連帯意識の向上と地域の活性が進められています。



## 明宝小川 小川ふるさと活性化組合「きの里(コテージ)を拠点とした都市農村交流」

申請2回目  
【自治会・地区団体】



近年市内外で広く周知されている花桃の景色が美しい小川地域には、5棟のコテージがあります。体験型の宿泊メニューもあり、年間の利用者は1200～1300人ほど。また、冠婚葬祭で地元に帰省する人、訪問者などの宿泊先として便利に利用されています。

活動では、現在23名からなる組合員を中心に施設周辺の環境整備をはじめ、市町村合併以前から継続してきた花桃の植栽を今年も実施。少子高齢化が進み人口減少が進む中、20年後・未来にも彩り華やかに花桃が咲き誇る景色ある暮らしを地元の人は大切にしています。

この組合が主催する4月下旬の花桃祭りは世代間交流の場として活かされ、催事を共有することで地域活性化に繋がっているそうです。今後も山林など地域の自然資源・資産活用の方向性を住民でしっかりと考えていきたいとのことです。

## 大和町剣 NPO法人子ラボハウス キキの家「リトルキキ・サタディ」

申請2回目  
【市民活動団体】

「リトルキキ」は0～3歳児と親さんが週1回、200円の料金で昼食のおにぎりを持参し利用しています。

お味噌汁が準備され、また親さんたちの為に子守から離れて過ごすティータイムが設けられています。子育ての情報交換ができ、経験のあるスタッフや、同じ利用者同士で話題を共有することができています。親にとっても息抜きができ、居心地の良い楽しい居場所になっていると利用者の方たちから聞きました。

「サタディ」は月2回、土曜日に小学生の子供達が利用しています。利用料金は月1,000円です。

学校や地域の枠を超えて、縦割りの小集団で様々な体験活動を行っています。教室の外でもコミュニケーション力や自己肯定感を養うことができるような内容のプログラムになっています。キキの家では、若い親子・子供達が抱える様々な不安なども拾いながら、子供たちが将来に渡り郡上でたくましく、元気に生きていけることを目的に活動しているとのことです。



## 白鳥町石徹白 いとしろアウトドアフェスティバル実行委員会「いとしろアウトドアフェスティバル2017」

申請1回目  
【市民活動団体】



このフェスティバルは、石徹白漁業協同組合主催の「石徹白 Fisher's Holiday」の後継イベントとして行われています。石徹白地域でのアウトドアやエコツーリズムを推進していく目的で地域住民と共に活動しています。

今年2度目のこのフェスティバルは、来場者が会場に訪れただけで終わるイベントではなく、石徹白での様々な体験者になってもらう参加型のプログラムを充実させました。地域外の業者さんとも協力や連携を図り、事業の展開を発展させることができました。こうしたイベントによる石徹白地域の認知度向上と、古道の整備による白山文化の継承と、生態系の保全活動など事業の継続による地域活性化を進めています。今年6月のフェスティバル開催に向け、平成30度の事業計画の協議が進められています。

## 白鳥町石徹白 NPO法人やすらぎの里いとしろ「いとしろカレッジ」

申請1回目  
【市民活動団体】

石徹白で「『生きる』を学ぶ いとしろカレッジ」は応募定員15名で開校しています。ここでは通年講座で各種プログラムの企画と実施を行っています。受講生は主に県外から参加しています。開校日に参観した際には、受講者から長良川鉄道を利用し、毎回わくわくしながら石徹白へ足を運んでいると聞きました。石徹白地区で1泊2日滞在し、宿の集客にも繋がっています。『この地域で古くからの生きる知恵や精神を現代によりみがえらせる取り組みに触れる』カリキュラムになっています。参加の中には、これから持続可能な生き方を考える学びの場として、訪れる石徹白の自然や住民との関わりを、心のふるさとのように感じていると教えて下さる方もいました。



## GOOD郡上プロジェクト 学校の取り組みの様子

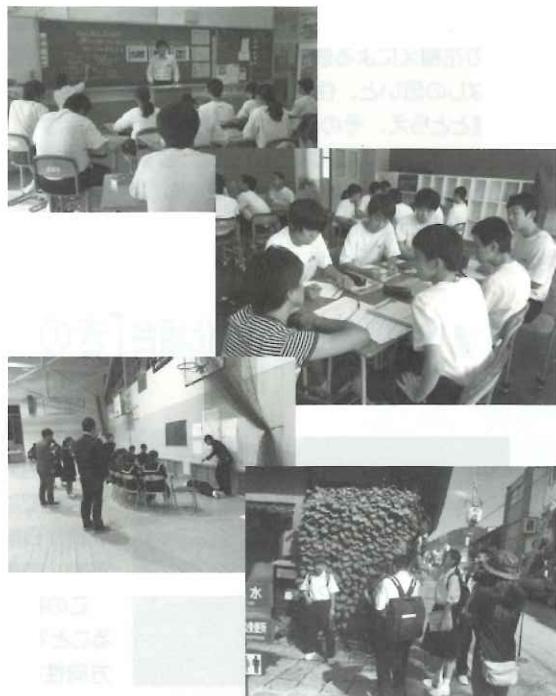
7年目を迎えるこのプロジェクトに賛同して下さる先生方も増え、今では総合の授業、社会科の授業で GOOD 郡上プロジェクトを活用して下さっている学校が多くなると同時に、学校ごとに特色のある活用方法がなされていました。

### — GOOD 郡上プロジェクト活用例 —

- 1~2年生合同で取り組んだ例
- 探求、調査、考察、提案のまとめと、多くの時間をあてた例
- 課題に添った専門家を招き講師をしてもらった例
- 地域の方に呼びかけ、学校内で中間発表を行った例
- 3年生が1~2年生に向けて提案発表し意見を求め、改善点を探った例

センターではより深く課題に取り組めるように、依頼のあった学校へ課題に添つたお話しができる講師のご紹介をしました。

今回応募を見送られた学校も、年間を通して「より良い未来のために郡上の現状を知りこれからを考えていく」ことを授業で真摯に取り組まれています。今後協働センターではそういった学校の取り組みの様子も皆さんに発信していきたいと思っています。



## GOOD郡上プロジェクト入賞提案の具現化

平成29年度は7つの提案が入賞となりました。そんな中、2つの入賞提案の現状をお知らせします。

### — 7つの入賞提案の中から具現化一番乗り! — あの頃の給食(せいしゅん)をもう一度!



- ・どんな提案?  
給食の時間を使って地域の方を招き生徒と給食を食べる
- ・どんな経緯?  
家族全員で食事をとる機会や地域の人たちと関わる機会が減っている。大和地域のために何かできることはないかと考え、アンケートの実施・給食センターへの相談などを経て実現化。

2月16日（金）の授業参観日、大和中学校の3年生と保護者の方が懐かしの給食と一緒に食べるといった形で具現化しました。メニューはあげパン、クジラ肉の竜田揚げ、すいとん、どれも美味!提案グループへのインタビューでは実現するとは思わなかった!!と協力してくれた学校、給食センター、地域協議会の方たちに感謝していました。

### — 具現化まであと少し! — おとぎの国のグランピング

- ・どんな提案?  
キャンプ場の一角を借りてイベントを行うことで市内での宿泊人数を増やし、カフェなどのイベントで地域間交流を促進する。
- ・どんな経緯?  
八幡町を訪問した総合学習の時間で講師についてくださった企業と生徒さんが意気投合!企業側も具現化への協力を快諾!今月中には生徒たちによる実行委員会が立ち上がる予定です。

協働センターでは生徒さんの具現化への思いを受け止め、形になっていくよう進めています。

発行者



郡上市 市民協働センター

☎ 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218 e-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永585 郡上市役所大和庁舎1階

【業務日時】月曜～金曜8:30～17:30 【休業日】土日祝祭日・年末年始

<https://www.gujo-siminkyodo.org/>



郡上 イベント  
カレンダー

かみなん・けんさく・みつかる